

# 2017年 第19回 YCリーグ大会規定

## 1. 集合

① 出場チームは、試合予定時間の1時間前までに到着すること。

### グラウンド整備

グラウンド整備、後片付けは試合する両チームが行う。特にビジターチームは、積極的にグラウンド整備を行うこと。(グラウンド内は禁煙です。喫煙は指定された喫煙場所を守る。ごみは、必ず各自チームで持ち帰ること。)

## 2. 選手・背番号

選手は当初の選手名簿のメンバー以外であっても、試合当日にチーム所属の一員であり、メンバー表に記載された者であれば出場できる。試合中に選手の背番号と当日提出したメンバー表の番号の相違が発覚した場合は、出場ができない。ただし相手チームに出場の手配が得られた場合に限り出場ができる。また連合チームは、背番号を重複させないこと。

## 3. 試合方法等【6年生(A)リーグ・5年生(B)リーグ・4年生(C)リーグ】

各学年リーグ方式とし、各組の中での総当たりとする。

① 試合回数は7回。(4年生リーグは5回。)前記の回数で勝敗が決しないときは、下記の試合時間内まで延長戦を行う。試合時間内に勝敗がつかない場合は特別ルールで勝敗を決める。

② 試合時間は1時間30分とし、開始から1時間30分を経過した後は、新たな回に入ることができない。(4年生リーグは試合時間を1時間15分とし、あとは同様とする。)

③ コールドゲームは、5回以降7点差以上。(4年生リーグは、3回以降12点。)

④ シートノックは5分、ピッチング数は初回5球、次回以降3球とする。

⑤ 投手の投球回数を1日30アウト、1試合15アウトまでを限度とする。(延長戦や特別ルール戦も含む)なお、4年生リーグは1日18アウト、1試合9アウトまでを限度とする。

⑥ リーグ戦期間は3月の開会日から9月23日までとする。(なお、期日までにリーグ戦の試合が終わらない場合は、12月までに必ず実施する。)本大会規定にない事項は、千葉県少年野球連盟主催の大会規定、全日本軟式野球連盟競技者必携書に規定される事柄及び野球規則書を準用する。天候若しくは何かの事情で4回(4年生は3回)裏まで試合が終了しない場合は再試合で勝敗を決する。当リーグ戦では引き分けや不戦敗・不戦勝の試合は無し。

## 4. 特別ルール

規定の試合方法で勝敗が決まらない場合、特別ルールにより勝敗を決定させる。※特別ルール：1死満塁の状態から前回の最終打者の次の打者より攻撃を行う(最長2回まで)。試合開始まで選手の交換なし、開始後から交換可。すでに試合で交代した選手は出場できない。特別ルールによっても勝敗が決まらない場合、出場選手9名によるジャンケンにて勝敗を決する。

## 5. 審判員

審判員は、双方のチームより各2名(ホームチームが主審)を出し合う。服装は、必ず審判服着用する。各リーグの決勝トーナメントは、参加チームから審判員を出すものとする。決勝戦は、参加チームは1名の帯同審判員を同行させ、本部役員と共同で行うものとする。

## 6. 報告

試合結果を翌週の月曜日までに勝利チームが責任をもって、勝敗結果と得点をYCホームページ(<http://miyamoto.cocolog-nifty.com/yc/>)の掲示板に報告(書き込む)する。

## 7. 最終順位(次の方法で順位を決定する)

① リーグ戦の期間内(9月18日まで)に未実施の試合があるチームは順位から除く。②勝数の多いチームを上位。③2チームが同率のときは相対の勝者が上位。④3チーム以上が同率のときは同率チーム間の勝数が多いチームが上位。⑤同率チーム間の総得失点の差が大きいチームが上位。その際に特別ルール試合の得点も加える。⑥リーグ戦全試合の総得失点の差が大きいチームが上位。リーグ戦での不戦勝、不戦敗は未実施の試合と見做します!

## 9. 決勝トーナメントへの出場チーム

各組1位+2位チームで16チーム以内。2位チームの順位：①負け数が少ない。②失点率(総失点÷試合数)が少ない。(特別試合の失点は含めない)③得点率(総得点÷試合数)が多い。(特別試合の得点は含めない)④特別試合の点も含めて失点率を計算、⑤特別試合の点も含めて得点率を計算、試合方法(回数、時間)は上記リーグ戦と同様とする。また、決勝戦の試合日程は、天候以外での変更は行わない。

## 10. 表彰(各学年)

①リーグ戦優勝(チーム表彰)：各学年、各組優勝、第2位(賞状、トロフィー、副賞)

②決勝トーナメント(賞状、トロフィー、メダル)、

チーム表彰：優勝(優勝旗)、準優勝(準優勝カップ)、第3位(2チーム)

個人表彰：最優秀選手賞、敢闘選手賞、優秀選手(各チーム1名)